自作派の味方

パーツショップ探訪 No.9 中澤弘光 Nakazawa Hiromitsu

タムラのトランスと管球アンプキットの専門店

サン・オーディオ


サン・オーディオのショールーム．同社のキットがすべて試聴できるほか，佐藤進氏や住久間駿氏製作アンプも展示されている

秋葉原でクラフトマニア向けの店を見てまわるとなると，あちこちに離れているため，結構時間がかかる．ＪＲ秋葉原駅の電気街口を出てから南に下り神田川を渡って左に曲がった柳原通りには，まずテレオン第3店があり，その先の地下がヒノ・オーディオのスピーカー店，さらに進むと同じくヒノ真空管アンプ店，そして同じビルの3階に管球アンプマニアになじみ深いサン・オーディオがある．ヒノのサウンドギャラリー店も含めると，ここには5つのオーディオ専門店が集中しており，この通りを目当てに来るマニアが結構増えている．

サン・オーディオのスタートは昭和45年で，当時は西武新宿線の保谷駅南側にあり，オリジナルキットを販売するほか，タムラの代理店としてトランスの販売，タムラの業務用機器の据え付け工事なども行っていた．

その後平成8年12月に現在地に移転したが，店舗面積も保谷時代に比べ2倍以上となり，同社のキットをすべて試聴できるショールームを設けて，管球マニアがついつい長居をしてしまう雰囲気の専門店に生まれ変わっている．

同社の特徴はなんと言ってもタムラ製トランスの品揃えの多さである．カタログに記載されたほぼ全製品を在庫しているほか，さらに特注のトランスも受けている．同社のキットはシングルからプッシュプルアンプまで10数機種にも及ぶが，当然すべてタムラ製トランスである．これまでに1000台以上売れたという主力の2A3シングルを始め，300Bシングルなどにはタムラに特注した大型トランスが使われており，その信頼性には定評がある．


ショールーム側からトランス，真空管売場を見る

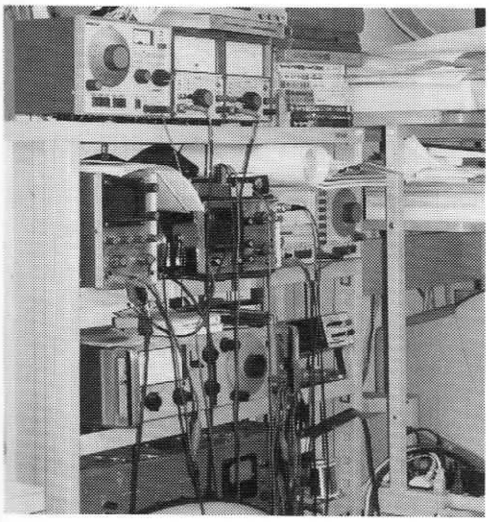

電源トランス，出力トランス，チョークコイルなどのタムラ製トランスの在庫の一部



インプットトランス，インターステージトランス，可変インダクターなどの小型トランスも数多く置いてある



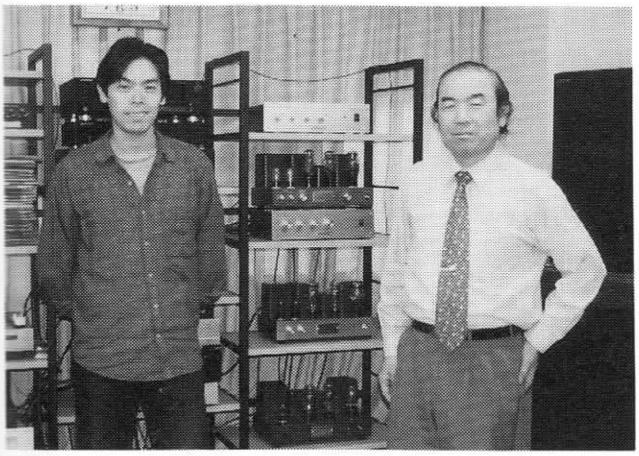
数は多くないが，ヨーロッパ製真空管もある．左がテレフンケンRV258，右がRS235



オリジナルキットを販売しているだけあって，測定器も各種揃っており，信頼感がもてる



左からスプラグのオイルコン，シズキのMPコン（450V 55μF），デールのメタルクラッド抵抗



二代目の内田満氏（左）と社長の内田昌穂氏

キット以外ではパーツ類も販売しており，リケンのRMA抵抗は全種あり，そのほかに特注箔厚タイプの角形ケース・オイルコンデンサー（8μFと10μF，耐圧1kVと1.6kV），シズキのMPコンデンサー，デールのメタルクラッド型抵抗，各種真空管ソケット，さらにデンオンDL103，DL102などのカートリッジも常備している．

真空管では現行製品のほかに，RCA，WE，テレフンケン，シーメンスなどのビンテージチューブもあって，こうした製品を眺めているだけで時間の経つのを忘れてしまう．

ショールームにはメインスピーカーにアルテック604-8G（620Bエンクロージャー）のほか内外のスピーカーが数組あり，希望の組み合わせで聴かせてくれる．親切な対応で居心地の良い代表的な専門店の一つだ．通信販売にも対応しているのもありがたい．

（株）サン・オーディオ　10：00～19：00　水曜定休
東京都千代田区神田須田町2-23-9　大和ビル３Ｆ
☎ 03-5296-0271　FAX 03-5296-0272
http://www2.big.or.jp/~sunaudio/